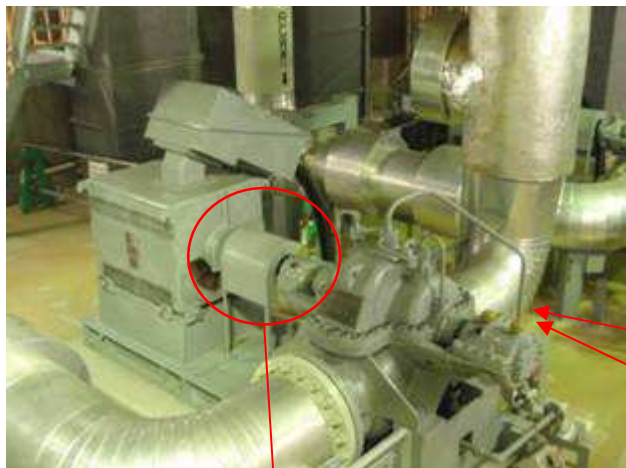


# 原子炉補機冷却水ポンプ(No. 1, 2, 3)

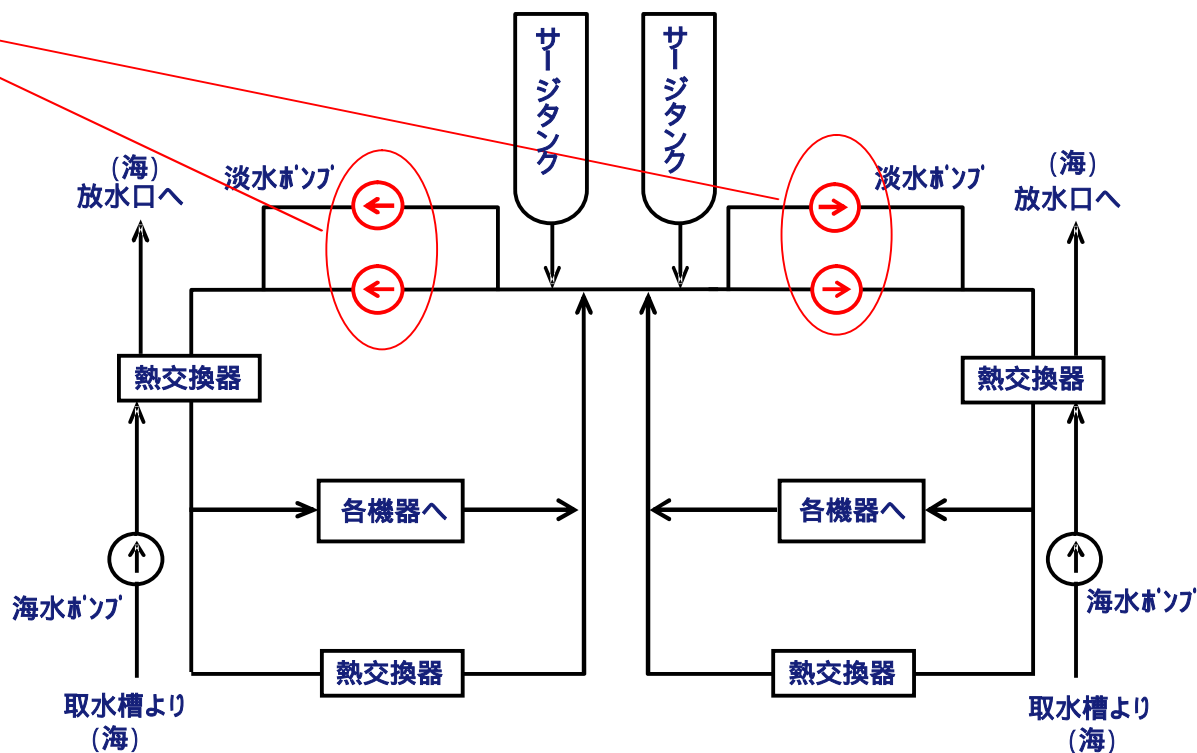


(カバー内部)



ポンプ側の軸とモーター側の軸との間に設置し、軸間の変位を吸収しながらポンプへモーターの力を伝達する接合部(ボルト, ナット)

点検内容: 原子炉補機冷却水ポンプの、ポンプとモーターとの接合部のボルト, ナットの取替を行いました。

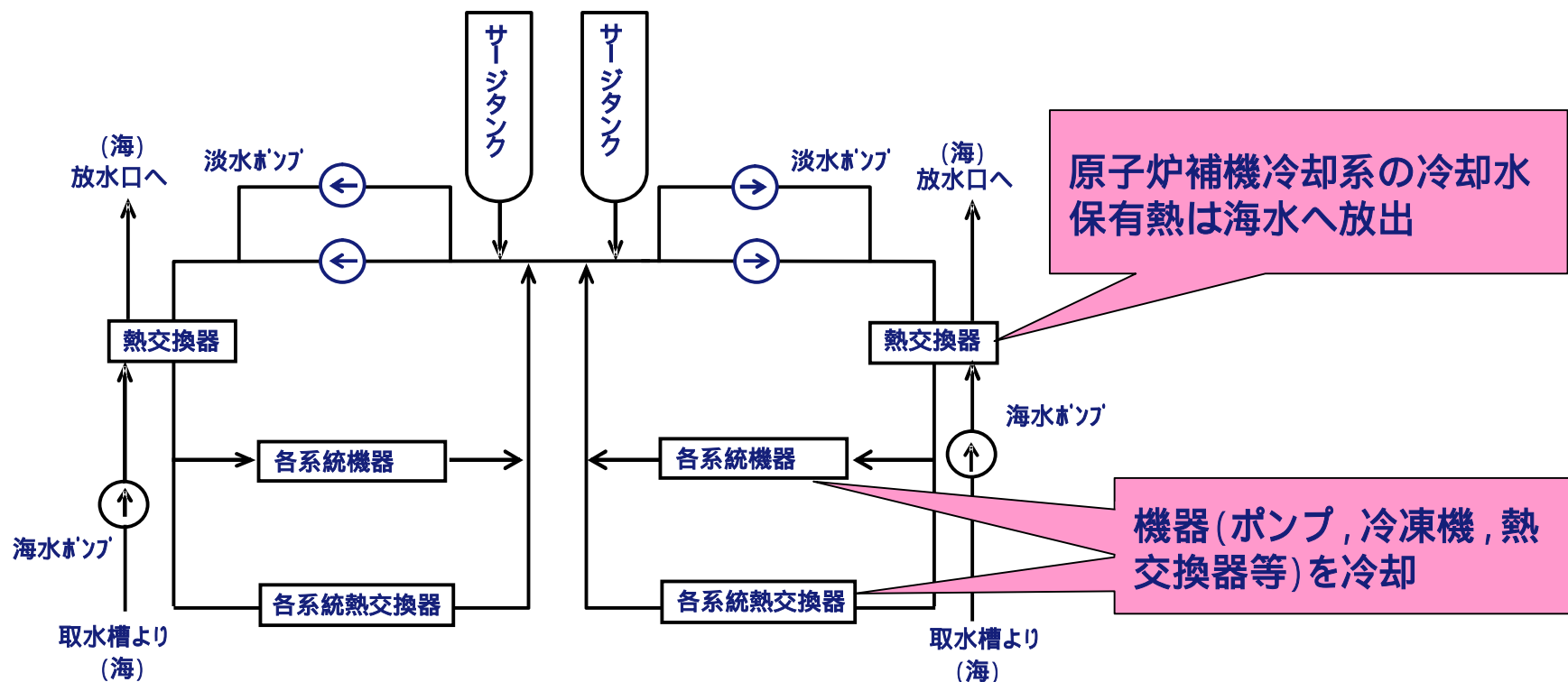


原子炉補機冷却系概略系統図

# 原子炉補機冷却水ポンプ (補足説明)

## 〔系統機能の補足説明〕

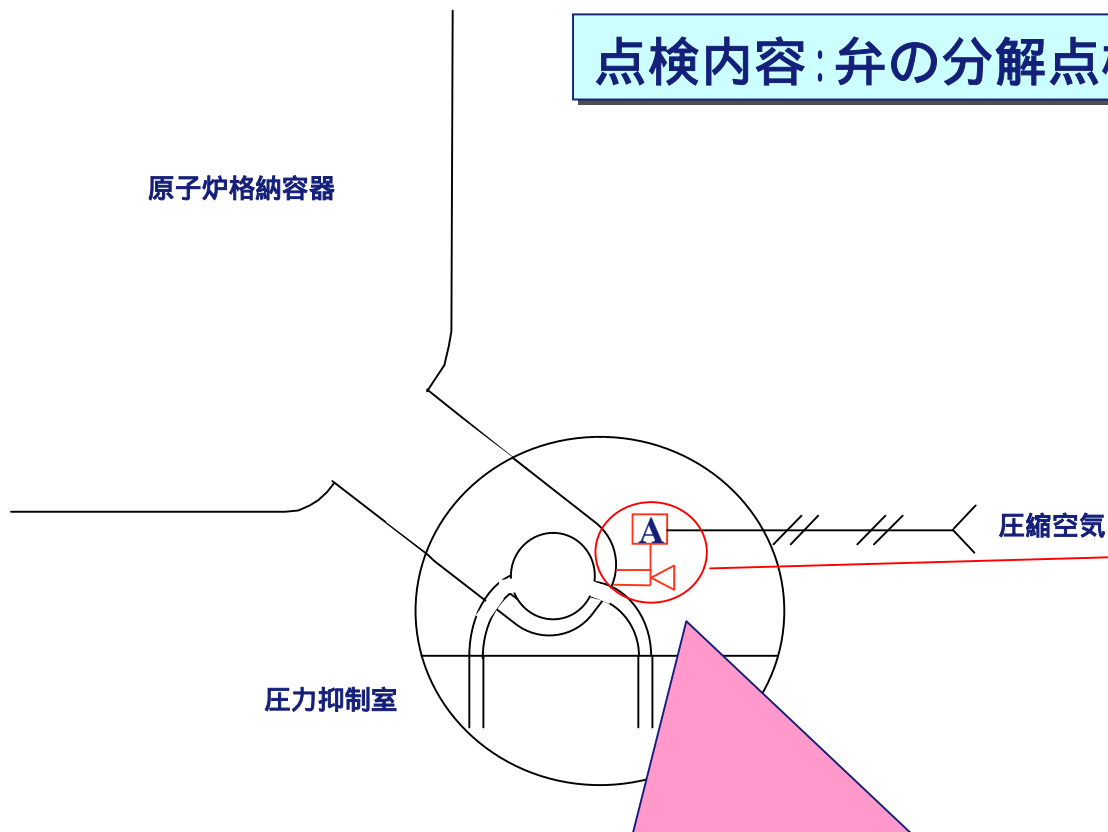
原子炉補機冷却系：原子炉の運転に必要な各系統の機器(ポンプ, 冷凍機, 熱交換器等)の冷却を行う系統。なお, 機器の冷却により原子炉補機冷却系に吸収された熱は, 原子炉補機海水系との熱交換器を通じて, 海水へ放出されます。



原子炉補機冷却系概略系統図

# 原子炉格納容器真空破壊弁 (No. 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11)

点検内容: 弁の分解点検を行いました。



真空破壊弁

原子炉格納容器真空破壊弁:  
通常運転時は閉じているが、原子炉格納容器の圧力が圧力抑制室の圧力より低下した場合に、圧力差により自動的に開き、原子炉格納容器の破損を防止する目的で設置された弁

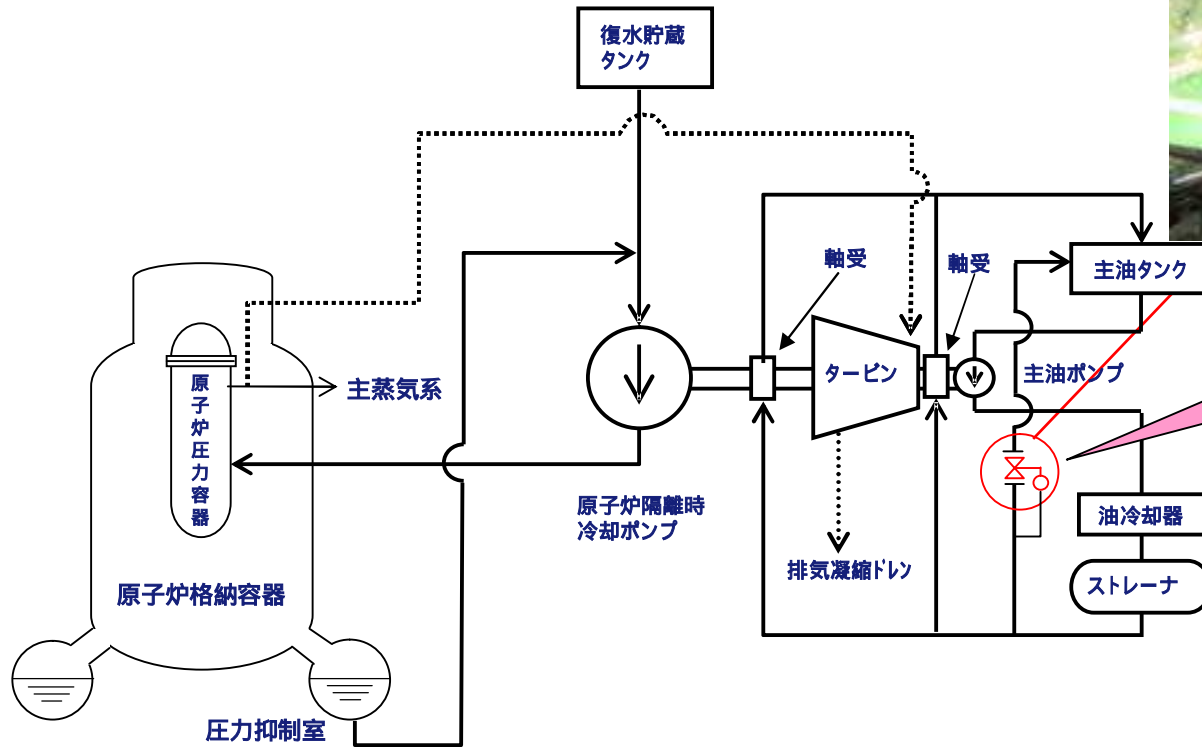
# 原子炉隔離時冷却系タービン油圧調整弁(No.12)

点検内容: 弁の取替を実施しました。



油圧調整弁

原子炉隔離時冷却系タービン潤滑油の油圧を調整する弁

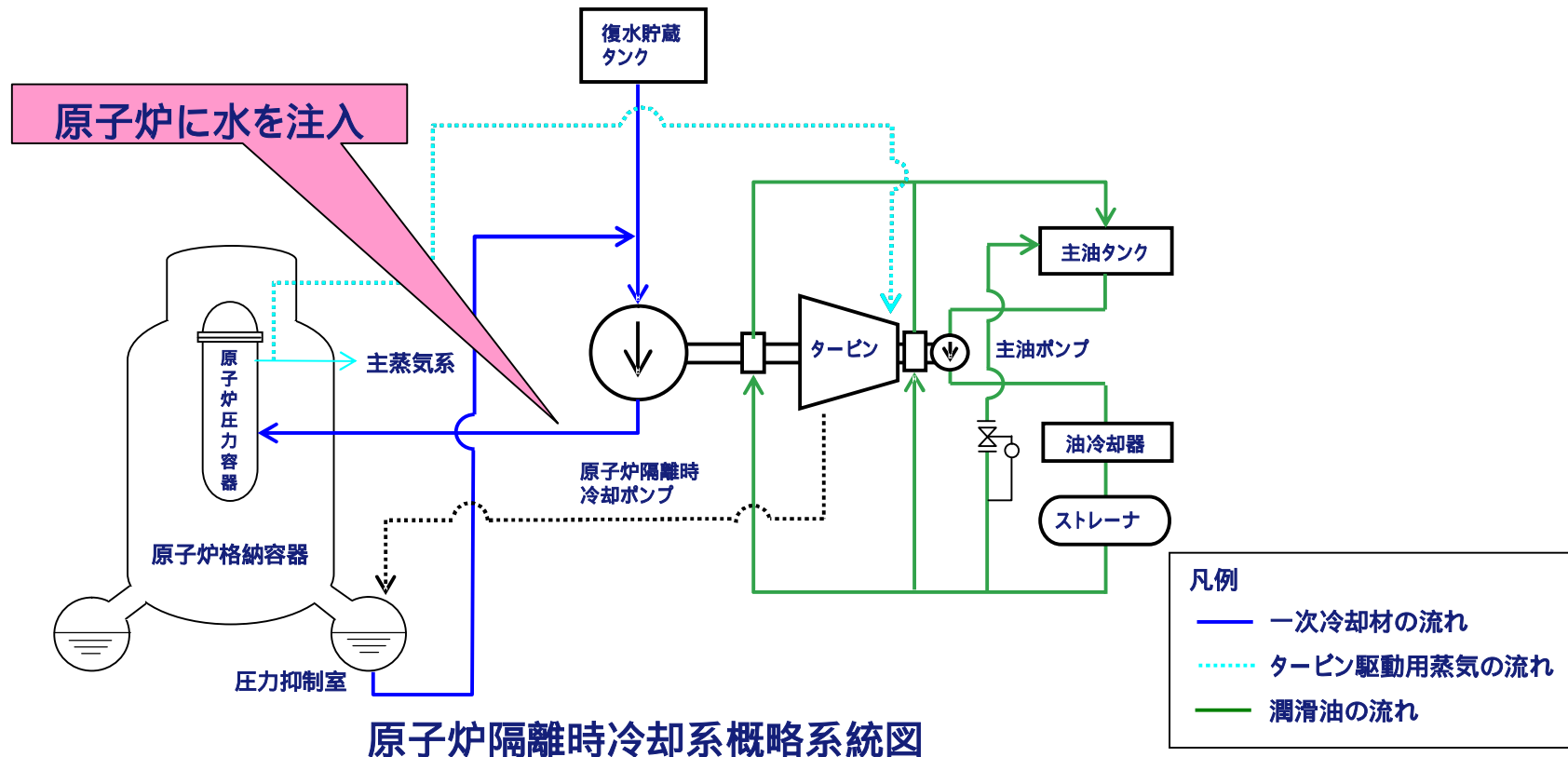


原子炉隔離時冷却系概略系統図

# 原子炉隔離時冷却系タービン油圧調整弁(補足説明)

## 〔系統機能の補足説明〕

原子炉隔離時冷却系：原子炉停止後，何らかの原因で原子炉への給水が停止した場合に，原子炉水位を維持するため，復水貯蔵タンクまたは圧力抑制室の水を原子炉に注入する設備です。

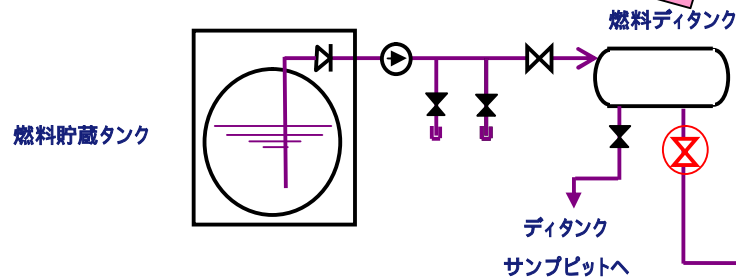


# ディーゼル燃料ディタンク出口弁(No.13,14)

点検内容: 弁の分解点検を行いました。

## 燃料ディタンク:

非常用ディーゼル発電機の燃料として使用する軽油を、燃料貯蔵タンクから一時的に保管するタンク



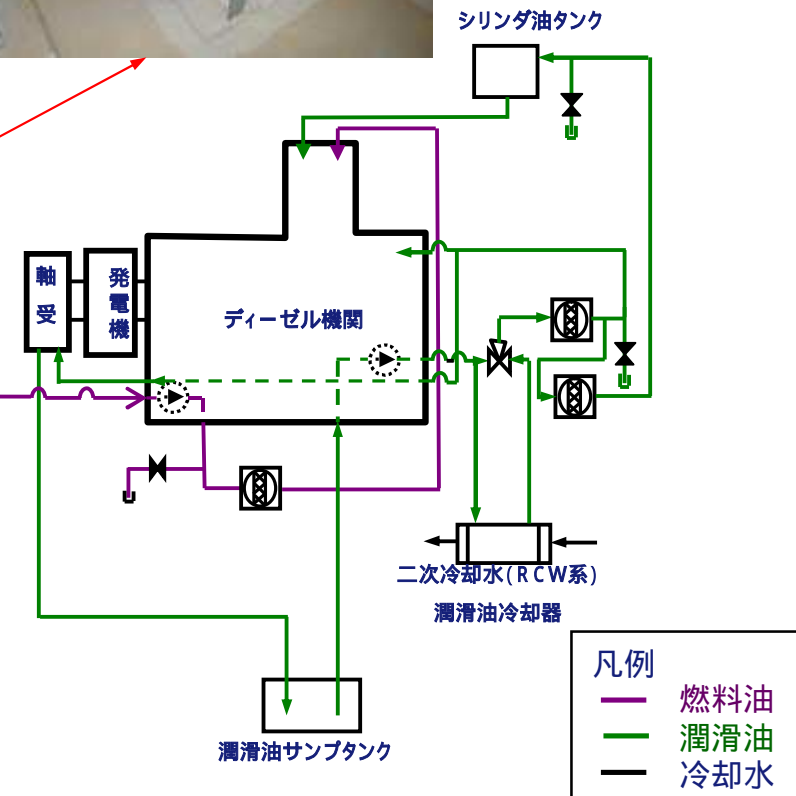
ディーゼル燃料ディタンク出口弁



運転中は常時開であり、配管等の点検の際に閉じる

## 非常用ディーゼル発電機系:

非常用ディーゼル発電機は、6.9kV非常用母線に接続されており、外部電源喪失時に原子炉を安全に停止するための必要な補機に電源を供給します。



非常用ディーゼル発電機系概略系統図

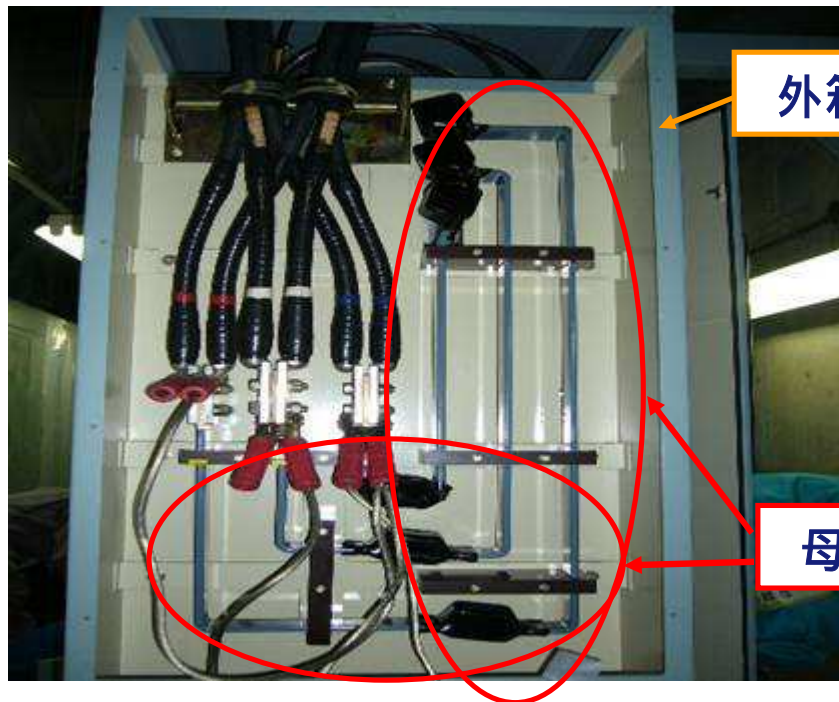
# 非常用ロードセンタ母線(No.15)

# 非常用コントロールセンタ母線(No.16,17,22,23,24)

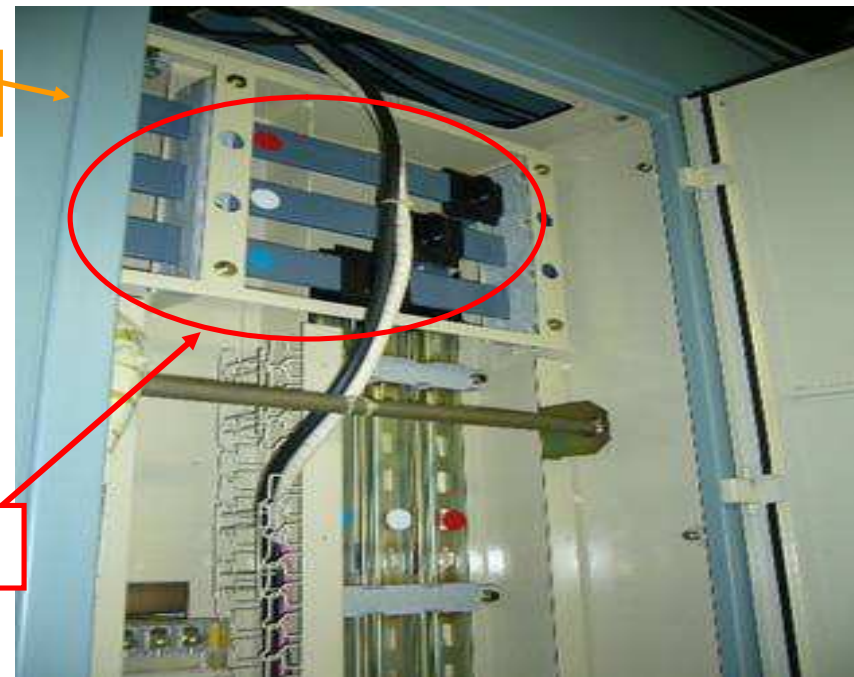
点検内容:目視点検及び絶縁抵抗測定を行いました。

非常用コントロールセンタ(2A-DG-C/C) 母線,外箱

【盤正面】



【盤裏面】



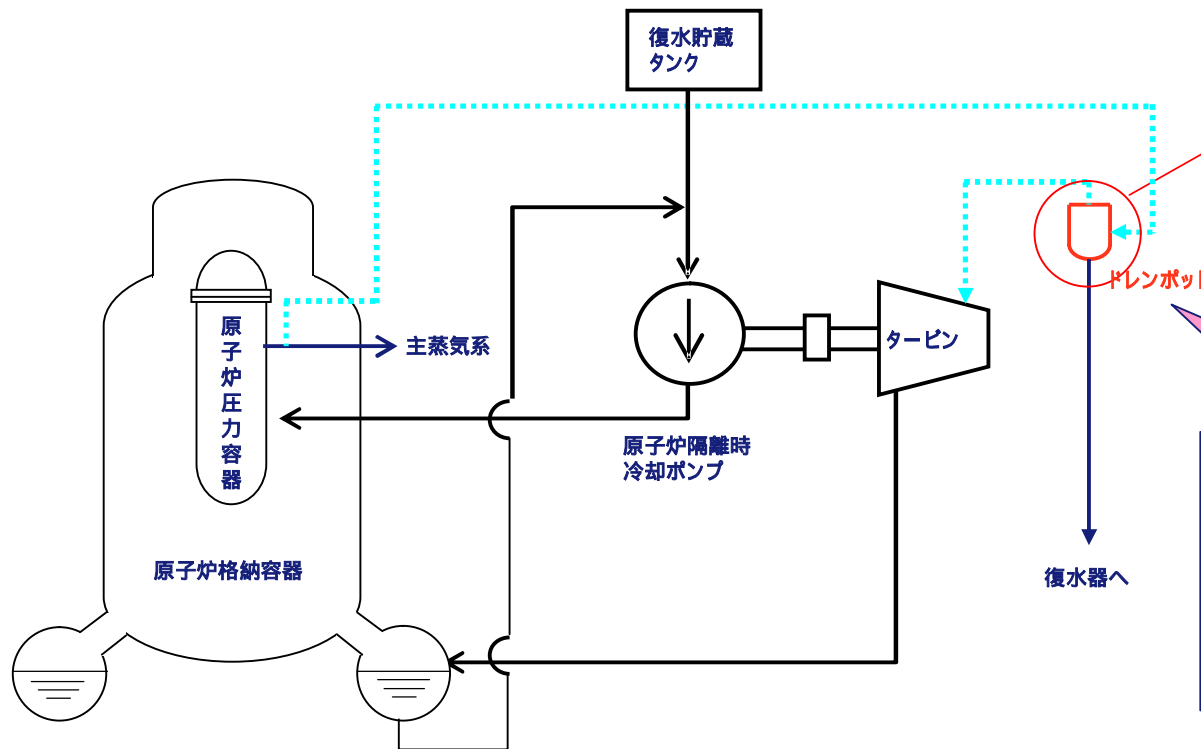
絶縁抵抗測定:母線相互間や母線と対地間の絶縁性(電流が漏れない性能)を確認する測定のこと

# 原子炉隔離時冷却系入口管ドレンポット(No.18)

点検内容:外観にき裂・損傷がないことを目視により確認しました。また,肉厚測定を行い,有意な減肉は無く,必要肉厚が確保されていることを確認しました。



ドレンポット



ドレンポット:  
タービン入口蒸気の凝縮水を溜めることにより,タービン翼の損傷を防止することを目的として設置している

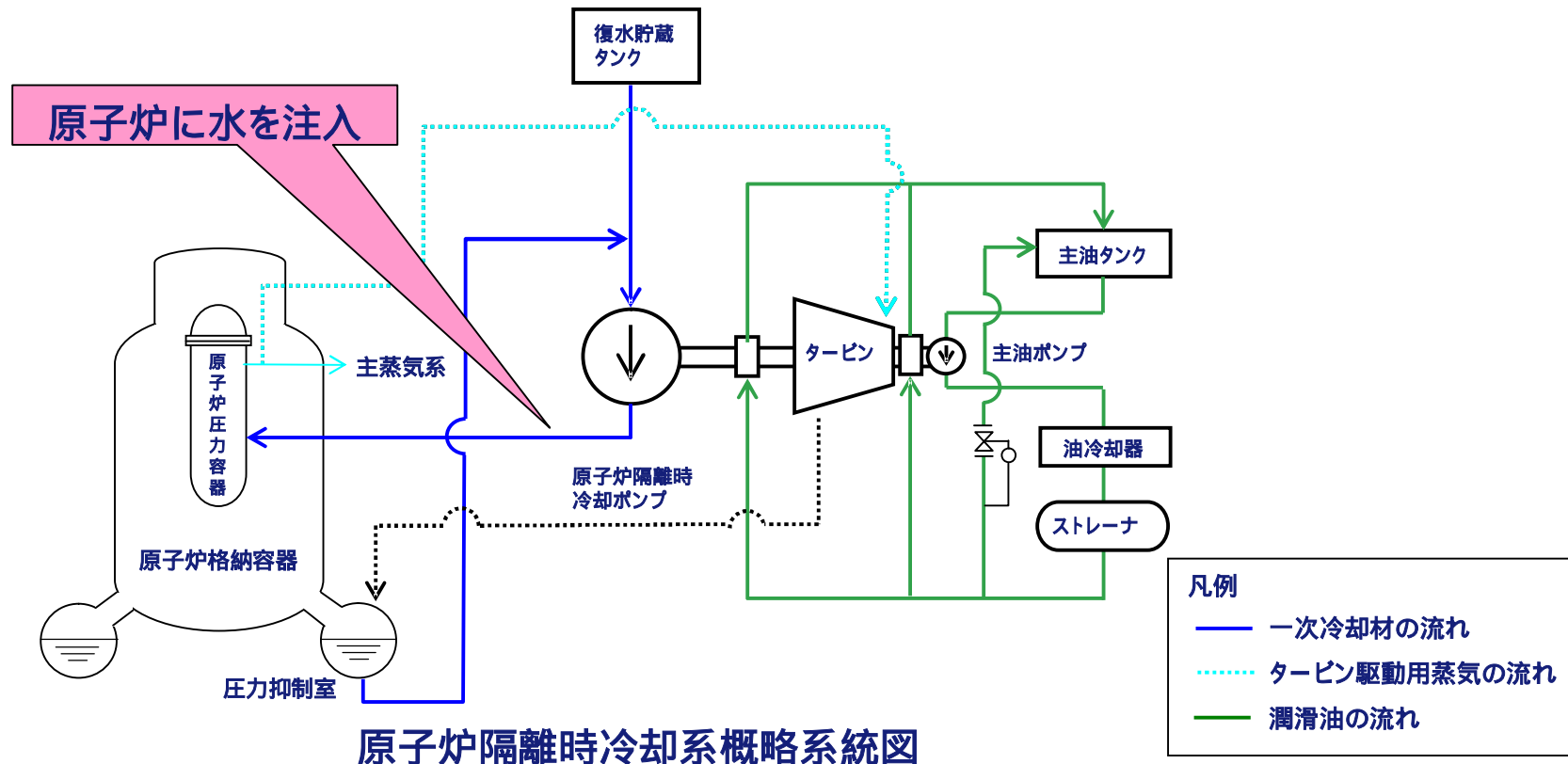
原子炉隔離時冷却系系統概略図



# 原子炉隔離時冷却系入口管ドレンポット(補足説明)

## 〔系統機能の補足説明〕

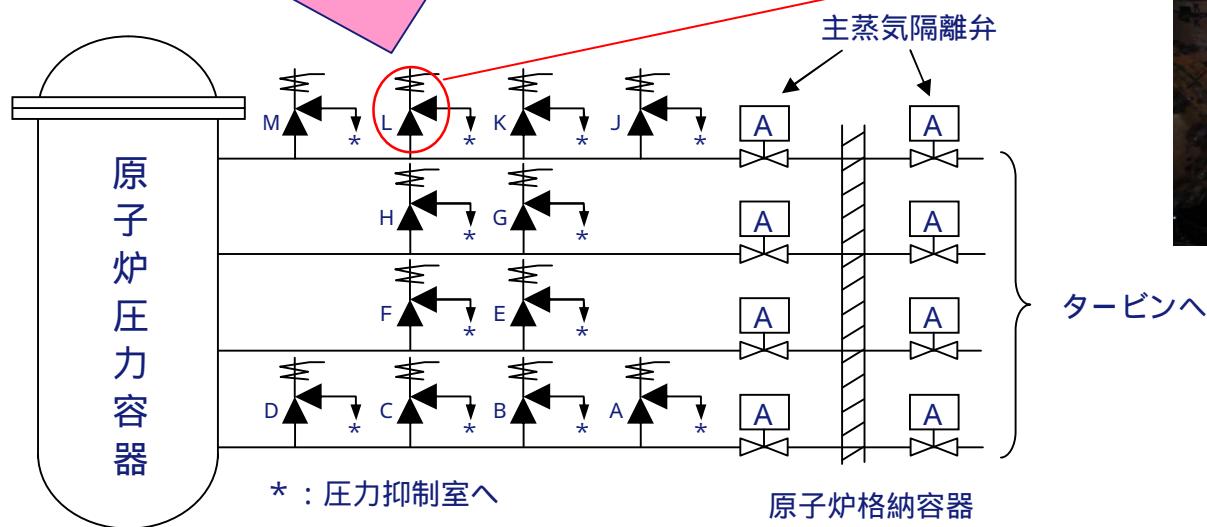
原子炉隔離時冷却系：原子炉停止後，何らかの原因で原子炉への給水が停止した場合に，原子炉水位を維持するため，復水貯蔵タンクまたは圧力抑制室の水を原子炉に注入する設備です。



# 主蒸気逃がし安全弁 (No. 19, 20, 21)

点検内容: シリンダ (主蒸気逃がし安全弁駆動部の一部) の分解点検を行いました。

逃がし安全弁:  
原子炉圧力容器の圧力が過度に高くなった場合に開閉し、容器内の圧力を低下させるために設置された弁。本弁は4本の主蒸気管に計12個設置されている



主蒸気系 (主蒸気隔離弁まで) 系概略系統図